

草の根・人間の安全保障無償資金協力
「カタベイ県バンダウエ女子中等学校女子寮建設計画」
引渡式

2015年10月2日



中央写真:西岡周一郎大使(右)、ムーサ中等教育局長・教育科学技術省(左)(バンダウエ女子中等学校の引渡式にてテープカットを行う様子)、
右上写真:プロジェクトで建設された寮、右下写真:式典模様、左下写真:寮見学の様子、左上写真:西岡大使とバンダウエ女子中等学校の生徒

2015年10月2日、西岡周一郎大使は、平成26年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「カタベイ県バンダウエ女子中等学校女子寮建設計画」で建設された女子寮の引渡しを行いました。式典にはマラウイ教育科学技術省からムーサ中等教育局長が臨席しました。

バンダウエ女子中等学校は、マラウイ北部管区内にある優秀な学校の1つです。昨年、当学校では22名の女子学生が大学に進学しました。優秀な学生を輩出するバンダウエ女子中等学校ですが、女子寮の不足など、学校施設の改善が長年の課題となっていました。実際に女子寮では、2人の学生が一つのベッドを利用したり、女子寮に入寮できなかった54名の学生は裁縫室を女子寮として利用していました。

優秀な女子学生の生活環境を改善するため、日本政府は草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、バンダウエ女子中等学校に対し158,317米ドルを贈与しました。バンダウエ女子中等学校は贈与資金を利用して、合計112名収容可能な女子寮2棟及び40-50名収容可能な簡易女子寮を建設しました。

式典で西岡周一郎大使は、2013年に安倍総理が提言した「全ての女性が輝く社会づくり」イニシアティブについて述べ、本支援の重要性を強調しました。このイニシアティブでは、日本だけでなくアフリカ地域を含めた開発途上国における女性のエンパワーメント及びジェンダーの平等を推進しています。バンダウェ女子中等学校の女子学生に対して、西岡大使は、女子寮で生活しながら勉学に励み、女子教育を推進するようリーダー的存在になってほしいとの期待を示しました。